

青森県立美術館 映画上映

青森
県立
美術館
AOMORI MUSEUM OF ART

特集

あなたは、わたしの“誰か”に似ている——

わたしの中の樹木希林

『神様のくれた赤ん坊』

『夢の女』

『39-刑法第三十九条-』

『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』

『歩いてても 歩いてても』

『ずっと、いっしょ。』

『あん』

『人生フルーツ』



©2015 映画『あん』製作委員会 / COMME DES CINEMAS / TWENTY TWENTY VISION / ZDF-ARTE

2018
10 / 5 — 8
(金) (月・祝)

会場 青森県立美術館シアター

青森県青森市安田字近野185



ゲストトーク

10/6 (土) 14:45 ★

河瀬直美 (映画監督)

樹木希林さん主演『あん』の

河瀬直美監督を迎えてゲストトーク!

※当日有効の「1日券」または「通し券」でご観覧可能

photographed by LESLIE KEE



www.aomori-museum.jp

芸術文化振興基金助成事業

主催: 青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会 / 青森県立美術館 共催: 青森県立美術館サポートシップ倶楽部 助成: 芸術文化振興基金



『神様のくれた赤ん坊』
10月5日② / 10月8日⑬

1979年 / 91分 / カラー / 35mmフィルム
出演：桃井かおり、渡瀬恒彦、樹木希林 他
監督：前田陽一

小夜子(桃井かおり)と晋作(渡瀬恒彦)の前に、見知らぬ女(樹木希林)が現れ、ひとりの少年を押し付け立ち去る。少年の母からの手紙には、父親として晋作をはじめ5人の男の名があり…。

『夢の女』
10月5日① / 10月7日⑫

1993年 / 98分 / 白黒 / 35mmフィルム
出演：吉永小百合、永島敏行、樹木希林 他
監督：坂東玉三郎

明治末期、父の病氣と借金のため花魁となったお浪(吉永小百合)。お浪は娘が里子先でひどい仕打ちを受けていると聞き、店のお松(樹木希林)の知恵を借り、娘を引き取ることにするが…。

『39-刑法第三十九条-』
10月5日③ / 10月8日⑯

1999年 / 133分 / カラー / 35mmフィルム
出演：鈴木京香、堤真一、樹木希林 他
監督：森田芳光

殺人事件の容疑者・柴田(堤真一)は罪を認めているが殺意は否認していた。国選弁護人(樹木希林)は被告の精神鑑定を請求、小川香深(鈴木京香)も助手として司法精神鑑定に参加するが…。

『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』
10月6日⑧ / 10月7日⑪

2007年 / 142分 / カラー / 35mmフィルム
出演：オダギリジョー、樹木希林、内田也哉子 他
監督：松岡錠司

憧れの東京に出て美大生になったボク(オダギリジョー)。故郷のオカン(樹木希林)の励ましと援助により大学はなんとか卒業したものの、就職もせず、借金を重ね暮らす日々が続く…。



『歩いても 歩いても』
10月6日⑤ / 10月7日⑩

2007年 / 114分 / カラー / 35mmフィルム
出演：阿部寛、夏川結衣、樹木希林 他
監督：是枝裕和

ある夏の終わり。良多(阿部寛)は再婚したての妻(夏川結衣)と連れ子とともに実家に向かった。実家に着き、母(樹木希林)や父(原田芳雄)らと食卓を囲み、思い出話を花を咲かせるが…。

『ずっと、いっしょ。』
10月5日④ / 10月7日⑨

2014年 / 122分 / カラー / ブルーレイ
ナレーション：樹木希林
監督：森田トモ

2010年製作のドキュメンタリー『うまれる』のシリーズ続編。“最愛の妻を失った事実に向き合う夫”や“重篤な障がいを持つ子を育てる夫婦”など3家族をとおし「家族の絆とは何か」を問う。

『あん』
10月6日⑥ / 10月8日⑭

2015年 / 113分 / カラー / ブルーレイ
出演：樹木希林、永瀬正敏、内田伽羅 他
監督：河瀬直美

どら焼き屋の雇われ店長・千太郎(永瀬正敏)のもとに、求人紙を見たという徳江(樹木希林)がやってくる。彼女の勢いに負け粒あん作りを任せられたところ、評判となり店は繁盛するが…。

『人生フルーツ』
10月6日⑦ / 10月8日⑫

2016年 / 91分 / カラー / ブルーレイ
ナレーション：樹木希林
監督：伏原健之

ニュートウンの片隅で暮らし、互いを「さん付け」で呼び合う建築家とその妻。細やかな気遣いと工夫に満ちている日々の暮らしをとおして、本当の豊かさとは何かを思索するドキュメンタリー。

上映スケジュール	10/5(金)	①10:45『夢の女』、②13:30『神様のくれた赤ん坊』、 ③15:20『39-刑法第三十九条-』、④17:55『ずっと、いっしょ。』
	10/6(土)	⑤10:00『歩いても 歩いても』、⑥12:50『あん』、★14:45【ゲストトーク】、 ⑦16:05『人生フルーツ』、⑧17:55『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』
	10/7(日)	⑨10:00『ずっと、いっしょ。』、⑩12:55『歩いても 歩いても』、 ⑪15:05『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』、⑫17:45『夢の女』
	10/8(月・祝)	⑬10:00『神様のくれた赤ん坊』、⑭12:30『人生フルーツ』、 ⑮14:20『あん』、⑯16:35『39-刑法第三十九条-』

※開場は、各日初上映の10分前となります。

料金	1日券	上映日指定で当日の全作品をご覧いただけます。当日200円増し。(10/6は「ゲストトーク」観覧可能) 10/5・7・8上映 前売 1,200円 10/6上映 前売 1,500円
	ラスト1本割引	上映日指定で各日の最終回上映のみご覧いただけます。事務局予約・当日受付のみで販売。 500円
	通し券	期間中の全上映をご覧いただけます(10/6は「ゲストトーク」も観覧可能)。事務局予約のみでの販売。 前売のみ 2,000円

1日券 販売プレイガイド	ローソンチケット(Lコード：21437)、成田本店しんまち店、青森県立美術館ミュージアムショップ、 ヒロコ、ELMインフォメーション、イオンモールつがる柏インフォメーション ※販売は各上映日の前日までとなります。
電話・FAX・Eメール 事務局予約	事務局にて、チケットのご予約が可能です。 (1) 予約者の氏名・連絡先 (2) 希望の上映日・券種・購入枚数 をお申し付けください。 ※予約受付は、各上映日の前日の17時まで。(通し券は10月6日の17時まで)

【予約受付・お問合せ先】青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会 事務局
TEL.017-783-5243(平日9:00~17:00) FAX.017-783-5244 E-mail eiga@aomori-museum.jp
※個人情報は厳重に管理し、本上映会以外の目的では使用いたしません。

- アクセス
- ・JR新青森駅からルートバスねぶたん号「新青森駅東口」バス停から乗車、「県立美術館前」下車(所要約10分)
 - ・青森駅から青森市営バス「青森駅前6番」バス停から三内丸山遺跡行きに乗車、「県立美術館前」下車(所要約30分)
 - ・東北縦貫自動車道青森I.C.から車で約5分/青森自動車道青森中央I.C.から車で約10分(八戸方面から)



樹木希林(きききりん)

東京都生まれ。芸名“悠木千帆”としてデビュー。演出家・久世光彦らと組み、多くのTVドラマに出演し人気を集め、その強烈な個性から独自の地位を確立していく。『殿方御用心』(1966)で映画初出演。1977年には、TVのオークション番組にて芸名を売却。以後「樹木希林」に改名した。その後は『夢の女』(1993)など吉永小百合主演作に出演を重ねたほか、大林宣彦・鈴木清順・市川準・森田芳光・河瀬直美など名だたる監督が彼女を起用した。是枝裕和監督『歩いても 歩いても』(2007)ではナント三大陸映画祭最優秀女優賞を受賞。ほかにも各出演作で作品に彩りと暖かみを与え続けている。2008年に紫綬褒章、2014年には旭日小授章を受章。